

月刊びゃっきープレス

2008

無料配布

↑あたりまえ

11.09 ON SALE  
60億分の1

2月号

毎月初回ライブ日発行

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟  
http://www.satram.jp/byacky/  
byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

CD Single  
「60億分の1」  
3曲入り 500円  
オマケアニメーションつき  
ライブ会場にて販売中  
byacky@satram.jp

byacky press

# 中年の魅力

## 四捨五入して四十歳



▲いい歳した大人二人が頭に電気をつけて深海魚の気持ちを探るの図。

去る二月一日、びゃっきーはついに三十五歳の誕生日を迎えた。四捨五入して四十歳。ちやかちやかと落ち着かない毎日を過ごしてきたが、いい機会なのでこのへんでもいいかげんどっしりと落ち着いてみてはどうかと、自分を省みる。釣堀に落ちこちたり、スキーで骨折したり、スケートで腕を痛めたり、そんなことはもうたくさんだと、ドジっ子キャラを卒業すべく、「シブい」大人の魅力の探求に余念がない。そんなニューエイジのびゃっきーに注目である。

んまり気取らずに、もつと地を出していつてもいいのかなど。イヤ、地なんて大したもんじやないんですけどね。そりゃ、ただのオッサンだし。  
先日ね、誕生日のちようど一週間前ですわ。スケートにいったわけですよ。二十年以上やってなかつたわけですよ。案の定転びまわしてね。そのときに腕を突いたものだから、腕をね、痛めてしまいましてね。ええ。なんかそういう星の元に生まれてるっていうかですわ、必ずそういう目に合うようにできてるんですよ。  
オレのオヤジなんかはそこらへん、よくわかってね。オレが3歳の頃に釣堀に行つたわけですよ。もうオレと釣堀なら落ちるに決まってるよと決め付けていやがってね。案の定落ちたわけですよ。それと引き上げながら勝ち誇つたような顔をして笑ってたらしいんですよ。もちろんそんな顔、記憶に残っちゃいないんですがね。人が邪魔でインを攻めようとした釣堀の角の風景は記憶に残っちゃいますわ。オレの最初の記憶がそれですわ。思えばそこがケチの付き始めだったのかもしれないわね。

話がいふん逸れてしまいましたが、その腕が三週間も経つのに、ちつとも治らんのですよ。何かね、歳を取つたもんだなあ。そもそも筋力がずいぶん落ちてやがるんでしようね。そのくせラーメンばかり食つてるもんだから、メタボってきてもとありや、やつぱりもうオッサンを隠してつしようがないやね、こりや。  
え？ 魅力？ そんなもんあつたら今ごろ女の子がキヤキヤい言つてますがな。そこをなんとかって？ オジサン困つちやつたな。目じりのシワがチャイミングとでもしておいておくれよ。ダメ？ あ、そうですか。じゃあ、適当に見繕つておいてくれていいから。そういうやね、先日勤め先の近所に新しいラ  
——オッサンの話とはにかくとりとめがな  
(びゃっきー)

えー、先日三十五歳になつたわけですよ。ええ、なんてえかね、今まではなんとか誤魔化してきましたがね、こりやもう隠しようのない立派なオッサンですわ。すよ、はい。まあ、考えようによつちや、あ

喰らえ「オレの魅力」

